



2026 年 7 月 2 日

報道機関 各位

(名古屋教育記者会、文部科学記者会)

名鉄にしがま線の未来を子供たちが描く 幡豆小学校で「にしがま線」をテーマにした特別授業を開催

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学は、西尾市立幡豆小学校において、名鉄西尾・蒲郡線(通称:にしがま線)の存続と利用促進をテーマにした特別授業を実施いたします。

本取り組みは、内閣府が主導する「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期／スマートモビリティプラットフォームの構築」の一環として行われるもので、にしがま線が抱える存続問題という現状を、次世代を担う子供たちが自らの課題として捉え、地域公共交通への愛着(マイルール意識)を醸成することを目的としています。

記

■日時 7 月 13 日(月) 午前 10 時 20 分～11 時 10 分

■場所 西尾市立幡豆小学校 会議室

■対象 幡豆小学校 5 年生児童

■内容 ・にしがま線の役割と現状

・これまでの利用促進プロジェクトの結果報告

・自分たちにできる「にしがま線の使い方」を考える など

■講師 名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所

三輪 富生(みわ とみお) 教授

■狙い 名鉄にしがま線は、沿線住民にとって通学・通院・買い物を支える重要な公共交通機関ですが、利用者数の減少に伴う厳しい経営状況が続いています。

西尾市と名古屋大学は、SIP 第 3 期プロジェクトを通じて、データに基づいた利用促進策やモビリティサービスの再構築に取り組んでいます。

今回の特別授業では、名古屋大学の三輪教授が登壇し、専門的な視点から「鉄道がなくなることによって地域にどのような影響が出るか」を子供たちに分かりやすく伝えます。単なる知識の習得に留まらず、自分たちが将来にわたって地域で暮らし続けるために、どのように鉄道を活用できるかを具体的に考える「名鉄にしがま線利用プラン票」の作成を行います。

【取材を希望される方へ】

取材を希望される方は、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【関連リンク】

- 1) 内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期／スマートモビリティプラットフォームの構築」:

(戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期)

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sip3rd_list.html

(スマートモビリティプラットフォームの構築)

https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/sip_3/keikaku/10_smartmobility.pdf

- 2) にしがま線利用促進実証「名鉄にしがま線プロジェクト」:
(西尾市公式サイト)

<https://www.city.nishio.aichi.jp/kurashi/kotsu/1001409/1011318.html>



東海国立
大学機構

名古屋大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学未来社会創造機構 剣持 千歩

TEL:052-789-3565 FAX:052-789-5728

Email:kemmochi.chiho.j5@f.mail.nagoya-u.ac.jp